

大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第21号

令和4年10月12日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>



「これからの『あいさつ』を変えたい」と語った大関っ子！



10月4日(火)の朝礼で、「あいさつ」の言葉の意味ともつ力について子どもたちに伝えました。私の話をどう受け止めたか、どう感じたかを知りたいと思い、2学期から子どもたちの声を聴いています。今回の学校だよりでも、児童の感想の一部を紹介します。(※一部、漢字に直してあります。)

- ・私は、みんなに「おはようございます。」と言われたらうれしくなります。(1年)
- ・あいさつは、魔法の言葉なんて知りませんでした。(1年)
- ・友達とこれからも仲良く過ごしたいから、これからもあいさつをいっぱいしたいです。(2年)
- ・校長先生の話聞いて、あいさつは人と仲良くするための大切な行動だということが分かりました。(2年)
- ・あいさつは相手と自分の気持ちを幸せにするんだなあと思いました。あいさつは大切なんだと思いました。(3年)
- ・これからあいさつの数を増やしたいと思いました。あいさつは、これからずっと続けていこうと思いました。相手と自分の心をひらくためにがんばりたいです。(3年)
- ・人にあいさつをすると、いいことがあるんだなあと思いました。これから私もきちんと近所の人にもあいさつをしようと思いました。(4年)
- ・あいさつは大事だということに気づきました。これからは、友達、家族、地域の人たちに自分からあいさつをしたいと思いました。(4年)
- ・「挨」と「拶」の漢字の意味を初めて知り、あいさつの漢字はこんな意味があったんだと驚き、これからは今まで以上にあいさつを大切にしようと思いました。(5年1組)
- ・あいさつはみんなとつながれる魔法の言葉と聞いて、あいさつは大切だと感じました。これからは恥ずかしながら、自分からどんどんあいさつをしようと思いました。(5年1組)
- ・私は、あいさつはとても大事だと思いました。「あいさつはなぜ大事？」だというのは、私は人との仲を深めるものだと思うからです。友達とけんかしたときでも、あいさつは絶対に言った方がいいと思いました。(5年2組)
- ・朝礼であいさつの意味を知って、「相手の心をひらく」「相手の心に近づく」という言葉がとてもいいなと思いました。私もこれから元気よくあいさつしたいです。(5年2組)
- ・今までは、コミュニケーションをとるためじゃなくて、なんとなくであいさつをしていたけど、これからは相手の心に近づくためにみんなとあいさつをしていきたいです。(6年)
- ・今までは相手があいさつをしてから言ったり、何も言わなかったりしていて、今日の集会の話聞いて、これから相手が言う前に先に言ったり、習い事でも「こんばんは。」とか、けんかしちゃったら「ごめんね。」とか、色々な場面であいさつをしていきたいです。(6年)

全員の感想を何度も読み返し、改めて、子どもたちの心の純粹さと前向きな姿勢を強く感じました。本校の「あいさつ」がさらに良くなり、「あいさつ」でみんながつながる学校となることを期待します。さあ、明日はマラソン大会。子どもたちのこれまでの努力が報われるよう、精一杯応援します！